

九州新幹線～800系～



「800系 つばめ」

2004年7月24日 鹿児島中央駅にて撮影

1. 九州新幹線開通

九州新幹線が開通したというニュースはまだ記憶に新しいであろう。2004年3月13日、JR九州初の新幹線つばめがついに開通した。つばめ30号鹿児島中央発新八代行きは途中川内、出水、新水俣に止まり、全区間を46分をつないだ。その後、3分の連絡“つばめ”から“リレーつばめ”と名を変えた787系は、リレーつばめ30号として新八代～博多間を1時間52分で結んだ。これにより、鹿児島中央から博多間を2時間41分で結んだことになる。

これが最初の列車であった。九州新幹線は、一番速いもので鹿児島中央～新八代を34分で結び、連絡するリレーつばめは一番速いもので新八代～博多を1時間33分で結んでいる。九州の人は、この新幹線の開通により福岡と鹿児島島の交流をはじめとする九州内における交流の活発化に多大な期待を寄せている。

2. 探検！九州新幹線の内部

7月24日に九州新幹線の中身をいろいろ撮影してきました。完璧に一つの形式しか見ていませんが、そのところはご了承願います。



これは見ての通り行き先幕です。ここで見てほしいのは下の段です。左のほうに、ローマ字で「オオムタ」と書かれているのが分かるでしょうか？これは、リレーつばめの区間も合わせたつばめの停車駅をスクロールさせながら伝えているのです。これは他の車両ではあまり見られないものですね。

小さくて見づらいかもかもしれませんが、つばめは各号車が分かりやすいように大きく数字が書いてあります。これが、前と後ろの各二箇所（1、6は除く）に書いてあります。分かりやすい。





鹿児島中央駅の様子です。この時は、前発のつばめが出発した後で人はあまりいません。この新幹線駅は、一応4ホームあり、全てのホームが利用されていますが、現時点では2ホームあれば十分そうです。



←“和”のイメージが強く影響されている車内、入り口を入ってまず目に入った電話室も、和のイメージを感じ取れる仕様になっています。→中にある電話はこんな感じ



これは、デッキにある案内板です。親切なことに下に英語も書かれています。これより親切なのは、鹿児島中央を発車する時の自動放送と、新八代に到着するときの自動放送では、中国語と韓国語の案内もしてくれるのです。果たして中国人がどれだけつばめに乗るのか…。疑問は多い。



←つばめの座席です。ここにも和のイメージが出ていることが分かります。→窓のカーテンでは和のイメージらしくすだれが用いられています。これは日本らしさが思いっきり出ていて良い感じですね。





→つばめの車内です。こう見てみると車体と椅子がうまい具合に調和していないようにも思えますが、案外そうでもありません。これは後ろから撮っているので良く分からないとは思いますが、座席の柄が多少違ってきます。一列ごとに計4種類の柄があります。(人は気にしないでください) 前方電光掲示では「次は川内」と表示されている。

→つばめの各車両のデッキにはこのようなつばめを宣伝するポスターの入った額縁が数多く見られます。これはその中の一部です。背面にある点みtainなのも拡大してみればツバメの絵に見えます。それだけ乗った人につばめを印象付けさせたいのでしょうね。こういう点からもつばめに期待をかける九州の人の熱意が感じられます。



←自動販売機にもしっかりとつばめの名前が刻まれています。車内中つばめだらけです。現時点では未だ全列車において車内販売は実施されていないため、のどが渴いたときにも自動販売機に頼るしかないこともあります。車内販売の有無は事前に調べておきましょう。(因みにこの緑茶の料金は¥150) せいぜい50分の辛抱ですが…。





↑全ての駅の看板を並べてみました。上は左から鹿児島中央、川内、出水。下は左から新水俣、新八代の順に並んでいます。現時点では必要ないが、新水俣駅は二面三線の方式を用いており（ここら辺だと西武新宿線の井荻駅の配線で、ホームを下り線側に一つと上りの通過線と待避線の間の一ヶ所の計2ヶ所みたいにした感じ）将来の延伸時に備えている。また新八代の看板にはリレーつばめが次に止まる熊本の名が入っている（将来的に九州新幹線は新八代駅の隣に熊本駅が出来る予定のため延伸しても何ら問題はない。）



←現在の新八代駅です。ホームはここにしかなく両列車とも乗り継ぎの関係でこの駅では清掃などはされずに出発していきます。今は11番線は在来線となっていますが、線路自体は新幹線と通じているため考え方によっては寝台列車を新幹線線路に乗せることも可能。全通時には11番線を新幹線ホームにすることも可能。

→新八代に置かれているコインロッカーです。ここにもつばめが…。ここまでされると参りましたって感じですね。似たようなロッカーは博多駅にも存在していました。今の九州はつばめ一色です。



3. これからの九州新幹線

もちろん今の状態が完全ではありません。九州新幹線は今後延伸を続けます。現段階で発表されているのは、博多～新八代間の開通（すでに着工しています）をすると共に、途中の新鳥栖（仮称）駅から分岐して長崎へ向かう（来年より着工予定）二つの路線による構成となっていきそうです。これにより九州各地がぐんと近くなっていくことでしょう。今後の九州新幹線から目が離せません。それと共に、九州から特急列車が激減する日もそう遠くはなさそうです。特にリレーつばめは期間限定です。博多に通った時点でなくなるでしょう。さらには、寝台特急も距離を縮めて良くかもしれません。やはり九州となるとかなり遠い道のりになりますが、この機会に九州まで足を運んでみるのも一つの手ではないかと思います。

4. 余談

- ・リレーつばめなのに車両は有明だったりもする。
- ・ぶっちゃけ九州新幹線も自由席ガラガラ。指定は記念にしたい人が遣うべきですね。
- ・いくらつばめでもトイレには仕掛けをしなかった。残念！



そのトイレがこれ。至って普通です。

- ・車内販売くらい全車でやってほしかった。
- ・ここで用いている写真は全て自分が撮りました。決してパクリじゃありません。
- ・内容が一部真実と異なることもあります。自分の力が至らないことをあらかじめご了承ください。尚、違っていたことによる被害の責任は負いかねますので合わせてご了承ください。
- ・こらは、Toyo2000が2004年10月に、鉄研の部誌にて公開したものを、pdfファイル化したものです。見づらいたところもあるかと思いますが、当時の自分の力量をそのまま公開いたします。ご了承ください。